令和８年度　東京農工大学工学部
第３年次編入学試験　評価のポイント等

【学力検査（共通科目「英語」)】

中程度の長さの論説文を基にした２問、パラグラフ構成とそれに関連する自由作文１問、合計３問からなっています。全体として、英語の文章の論理展開を正確に読み解く力、英語の文法構造を理解し、英語表現の意図を、文脈を踏まえて的確に把握する力、英語で自分の考えを論理的に記述する力を、文挿入問題、論述式問題、語の並び替え問題、多肢選択問題、正誤選択問題、自由作文など、さまざまな形式の設問を通して評価しました。

【推薦入試(面接試験)】

面接試験においては、工学部および各学科の掲げるアドミッションポリシーに基づき、志望学科の学問領域への専攻意欲や、論理的な思考力、自分の考えをわかりやすく伝える能力を、質疑応答を通して総合的に評価しました。また、志望学科に応じて、面接試験の参考資料にするため「口述または筆記による簡単な基礎学力テスト」を行い、志望学科の学問領域で必要となる学力の確認も行いました。

【学力検査入試・社会人特別入試(面接試験・専門科目(口述試験))】

面接試験においては、工学部および各学科の掲げるアドミッションポリシーに基づき、志望学科の学問領域への専攻意欲や、論理的な思考力、自分の考えをわかりやすく伝える能力を、質疑応答を通して総合的に評価しました。

専門科目(口述試験)においては、志望学科に応じて、学部３年次に編入学する学生として必要な論理的思考力、専門分野に関する知識、解答を論理的に説明する力について確認を行いました。

◆口述試験での評価のポイント

1. 質問を正しく理解し、自分の考えをわかりやすく伝えることができるか。
2. 問題を解く道筋を論理的に組み立てることができるか。
3. 専門分野における基礎学力が十分に備わっているか。